

令和6年6月18日

八頭町議会

議長 尾 島 勲 様

産業福祉常任委員会

委員長 栄田 秀之

(公印省略)

産業福祉常任委員会視察調査研修報告書

八頭町議会産業福祉常任委員会は、令和6年5月8日に調査研修を終了したので、八頭町議会会議規則第77条の規定により、別紙のとおりその結果を報告する。

産業福祉常任委員会視察調査研修報告書

日 時：令和 6 年 5 月 8 日（水）

委 員：産業福祉常任委員会

委員長 栄田 秀之 副委員長 矢部 啓祐

委員 中村 美鈴 委員 前田 幸己

委員 岡嶋 正広 委員 川西 聡

委員 奥田 のぶよ

随員 議会事務局 林 孝昌

場 所：日南町にちなん中国山地林業アカデミー

南部町いくらの郷

鳥取県西部総合事務所

目 的：日南町 持続可能な林業を実現するため

南部町 地域の社会問題ニート、ひきこもり対策

鳥取県西部総合事務所 県と米子市の同居庁舎窓口対応

対応者：日南町、南部町、県西部総合事務所、米子市

研修内容

1. にちなん中国山地林業アカデミーは、林業が基幹産業である日南町に全国初の町立林業大学校として平成 31 年に設立。林業技術と知識を身に着けるだけでなく、自然への敬意を重要視している。令和 6 年度の入学生は 11 名。卒業生は町内外で活躍している。
2. 南部町いくらの郷は、学校や社会にうまくなじめないと感じていたり、社会への第一歩を踏み出せずにいる若者たちに対して、田舎の大自然の中での農林作業をベースにして自己回復能力に働きかけ、社会参加を目指している。南部町は地域共生社会実現拠点地として、いくらの郷を 2018 年に町内の入蔵集落に開設した。
3. 県と米子市の同居庁舎は、両者の合意により昨年 10 月に県内初の同居庁舎として開庁した。この県西部総合事務所 3 号館は、正面玄関を入るとセンター通路があり右側を市役所糺町支所が使用し、左側を県が使用している。2 階は市が使用し、3 階は県が使用している。市と県の関連業務が配置され利便性が向上したとあった。

【まとめ】

1. 八頭町も面積の 8 割を森林が占める町である。日南町のように林業後継者の育成に取り組んで行くべきだと強く感じた。
2. 南部町は、令和 4 年度から町より社会福祉協議会へ業務委託し、運営は社会福祉法人が行っている。①相談窓口②居場所づくり③ネットワークづくりを必須事業としている。熱心な指導者がいて驚いた。八頭町もいくらの郷のような居場所を設けるべきだと思う。
3. 八頭町も将来、県と町の同居庁舎として、県と米子市のように整然とした利便性の高い同居庁舎が望まれる。